

DCR-SX41

デジタルビデオカメラレコーダー 取扱説明書



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次	6
準備する	8
撮る	12
見る	16
パソコンを使って 保存する	20
DVDライター、レコーダー を使ってディスクを作る	28
使いこなす	34
その他	44

HANDYCAM®

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害**
など人への危害、また火災などの財産への損害
を未然に防止するため、次のことを必ずお守りくだ
さい。



「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこ
りがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故
障したまま使用していないか、などを点検してくださ
い。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーな
どの動作がおかしくなったり、破損していることに気
がついたら、すぐにソニーの相談窓口へご相談くださ
い。

万一、異常が起きたら

変な音・においが
したら
煙が出たら



- ① 電源を切る
- ② 電池をはずす
- ③ ソニーの相談窓口
に連絡する

裏表紙にソニーの相談窓口の連絡先があります。

危険 万一、電池の液漏れが起きたら

- ① すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気
体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
- ② 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水な
どきれいな水で十分に洗ったあと、医師の治療を
受けてください。
- ③ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で
口を洗浄し、医師に相談してください。
- ④ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流
してください。

警告表示の意味

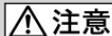
この取扱説明書や製品では、次の
ような表示をしています。



危険
この表示のある事項を守らない
と、極めて危険な状況が起こり、そ
の結果だけかや死亡にいたる危害
が発生します。



警告
この表示のある事項を守らない
と、思わぬ危険な状況が起こり、そ
の結果だけかや死亡にいたる危害
が発生することがあります。



注意
この表示のある事項を守らない
と、思わぬ危険な状況が起こり、
けがや財産に損害を与えることが
あります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



スラグをコン
セントから抜く



指示

電池について

「安全のために」の文中の「電池」と
は、バッテリーパックも含まれます。

使用前に必ずお読み ください

付属品を確かめましょう

はじめに、付属品を確認してください。
万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。()内は個数。

- ACアダプター(1)
- 電源コード(1)
- A/V接続ケーブル(1) **A**
- USB ケーブル(1) **B**
- リチャージャブルバッテリーパック
NP-FH30(1)
- CD-ROM「Handycam Application
Software」(1) (20ページ)
 - 「PMB」(ソフトウェア。「PMBガイド」を含む)
 - 「ハンディカムハンドブック」(PDF)
- 取扱説明書 <本書>(1)
- 保証書(1)



- 本機で使える“メモリースティック”については、37ページをご覧ください。

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「取り扱い上のご注意」をご覧ください(47ページ)。
- 本機の **■** (動画) ランプ・**■** (静止画) ランプ (10ページ) やアクセスランプ(37ページ) が点灯、点滅中に次のことをしないでください。
記録した動画・静止画が失われたりする場合があります。また、記録メディアや本機の故障の原因になります。
 - “メモリースティック PRO デュオ”を取り出す
 - 本機からバッテリーやACアダプターを取りはずす

- 本機をケーブル類で他機と接続するときは、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。
- 長期間、画像の撮影・消去を繰り返していると、記録メディア内のファイルが断片化(フラグメンテーション)して、画像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、画像を保存したあと、[メディア初期化]を行ってください(34ページ)。
- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が見れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

録画・録音に際してのご注意

- 事前のためし撮りをして、正常に録画・録音できることを確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたがビデオで録画・録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影した画像データを定期的に保存してください。画像データはパソコンを使ってDVD-Rなどのディスクに保存することをおすすめします。DVDライターやビデオ、DVD/HDDレコーダーで画像データを保存することもできます。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本書について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。画像や本機の画面表示は、実際に見えるものと異なります。
- 本書では、内蔵メモリー、“メモリースティック PRO デュオ”を「記録メディア」といいます。
- 本書では、“メモリースティック PRO デュオ”・“メモリースティック PRO-HG デュオ”を「メモリースティック PRO デュオ」と表現しています。
- 付属のCD-ROMには、「ハンディカムハンドブック」が収録されています(43ページ)。
- 本書の説明に使用しているパソコンの画面は、Windows Vistaのもので、お使いのOSによって画面表示は異なります。

使いかたの流れ

撮る(12ページ)

- お買い上げ時の設定では、動画・静止画は内蔵メモリーに記録されます。
- 記録メディアを変えられます(36ページ)。



見る(16ページ)

本機で見る(16ページ)

テレビにつないで見る(19ページ)

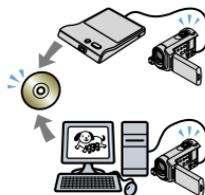


ディスクに保存する

パソコンを使って保存する(20ページ)

DVDライター、レコーダーを使ってディスクを作る(28ページ)

- 専用DVDライター「DVDirect Express」(別売り)と本機をつなぐと、本機を操作してディスクを作成したり、作成したディスクを「DVDirect Express」で再生したりできます。



削除する(34ページ)

- 保存済みの動画・静止画を内蔵メモリーから削除すると、空いた内蔵メモリーの記録可能領域に、再び記録できます。



目次

安全のために	2
使用前に必ずお読みください	3
使いかたの流れ	5

■ 準備する

準備1：バッテリーを充電する	8
海外で充電するには	9
準備2：電源を入れて日時を合わせる	10

■ 撮る

撮る	12
かんたんに撮って見るには(かんたん操作)	15

■ 見る

本機で見る	16
テレビにつないで見る	19

■ パソコンを使って保存する

パソコンの準備をする(Windows)	20
Macintoshをお使いのときは	20
ワンタッチでディスクを作る(ワンタッチディスク)	23
パソコンに保存する(かんたんPCバックアップ)	24
動画・静止画の保存先を変えるには	24
「PMB(Picture Motion Browser)」を起動する	25
ディスクを作る	26
ディスクをコピーするには	26
動画を編集するには	27
動画から静止画を作るには	27

■ DVDライター、レコーダーを使ってディスクを作る

DVDライター「DVDirect Express」でディスクを作る	28
DVDirect Express以外のDVDライターなどでディスクを作る	31
レコーダーなどでディスクを作る	32

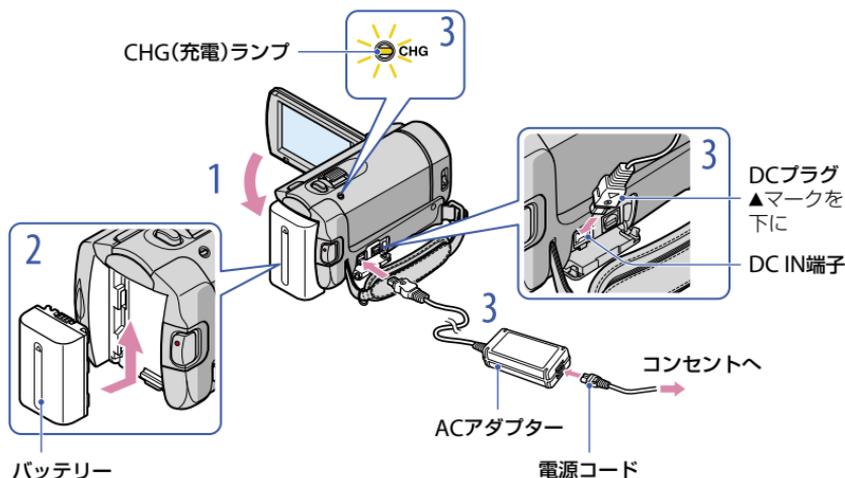
■ 使いこなす

動画・静止画を削除する	34
状況に合わせて撮る	35
記録メディアを変える	36
記録メディアの設定を確かめるには	36
内蔵メモリーの動画・静止画を“メモリースティック PRO デュオ”に ダビング、コピーするには	37
メニューで設定を変える	38
ヘルプ機能の使いかた	38
「ハンディカムハンドブック」で調べる	43

■ その他

❓ 故障かな?と思ったら	44
取り扱い上のご注意	47
主な仕様	49
保証書とアフターサービス	51
画面表示	52
各部の名前	53
安全のために	55
索引	58

準備1：バッテリーを充電する



専用の“インフォリチウム”バッテリー(Hシリーズ)を本機に取り付けて充電します。

- “インフォリチウム”バッテリーHシリーズ以外は使えません。

1 本体の液晶画面を閉じて、電源を切った状態にする。

2 バッテリーを「カチッ」というまで矢印の方向にずらして取り付ける。

3 ACアダプターと電源コードを本機とコンセントにつなぐ。

CHG(充電)ランプが点灯して充電が始まります。

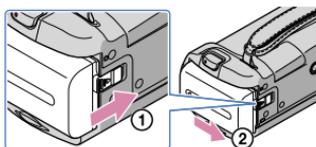
充電が完了するとCHG(充電)ランプが消えます(満充電)。

4 充電が終わったら、ACアダプターを本機のDC IN端子から抜く。

- 充電・撮影・再生可能時間は、50ページをご覧ください。
- 電源を入れて撮影画面にすると、画面左上のバッテリー残量表示でおおよそのバッテリー残量を確認できます。

バッテリーを取りはずすには

液晶画面を閉じて、BATT(バッテリー)取りはずしレバーをずらしながら①)バッテリーを取りはずす②)。



コンセントの電源で使うには

[バッテリーを充電する]のつなぎかたのまま操作する。

バッテリー、ACアダプター使用時のご注意

- バッテリーやACアダプターを取りはずすときは、本機の液晶画面を閉じ、 (動画) ランプ/ (静止画) ランプ(10ページ)が消えていることを確認してください。
- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- お買い上げ時は、電源を入れてなにもしない状態が約5分間続くと、バッテリー消耗防止のため、自動的に電源が切れます〔自動電源オフ〕。

海外で充電するには

付属のACアダプターを使って全世界で充電できます。ただし、地域によって電源プラグの形が異なるので変換プラグが必要です。旅行代理店などでご確認ください。

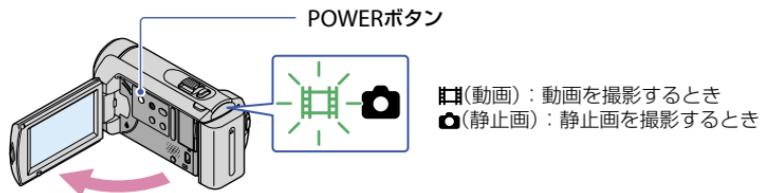
- 電子式変圧器(トラベルコンバーター)は使用しないでください。

準備2：電源を入れて日時を合わせる

1 本機の液晶画面を開く。

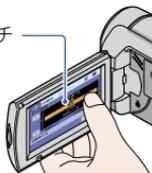
電源が入ります。

- 液晶画面が開いた状態から電源を入れるときは、POWERボタンを押します。



2 ▲/▼ でエリアを選び、[次へ]をタッチする。

画面のボタンをタッチする。

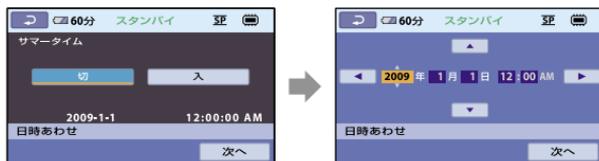


- 再度、時計あわせをするには、**↑**(ホーム)→**⚙️**(設定)→[時計設定]→[日時あわせ]の順にタッチします。画面にないときは、**▲/▼**をタッチして項目を表示させます。

3 同様にサマータイムを設定し、日時を設定して、[OK] をタッチする。

時計が動き始めます。

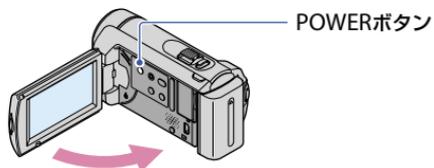
- [サマータイム]を[入]にすると、時計が1時間進みます。



- 日付時刻は撮影時には表示されません。撮影した記録メディアに自動的に記録され、再生時に表示させることができます。表示させるには、**↑**(ホーム)→**⚙️**(設定)→[画像再生設定]→[日時/データ表示]→[日付時刻データ]→**OK**→**⏪**→**X**をタッチします。
- ボタンをタッチしたときなどの操作音を消すには、**↑**(ホーム)→**⚙️**(設定)→[音/画面設定]→[操作音]→[切]→**OK**→**⏪**→**X**をタッチします。

電源を切るには

液晶画面を閉じる。電源ランプ(動画)が数秒間点滅して、電源が切れます。

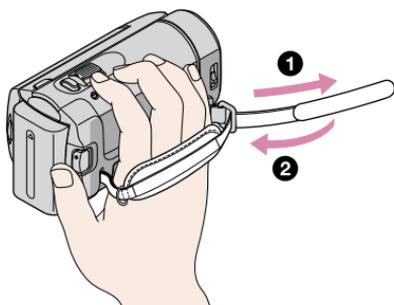


- POWERボタンを押しても電源を切ることができます。
- [パネルで電源オン] (41ページ)の設定が[切]になっているときは、POWERボタンを押して電源を切ってください。

撮る

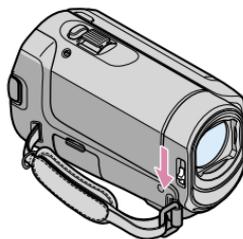
動画を撮る

お買い上げ時の設定では、動画は内蔵メモリーに記録されます(36ページ)。



1 グリップベルトをしっかり締める。

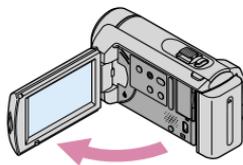
2 レンズカバーを開ける。



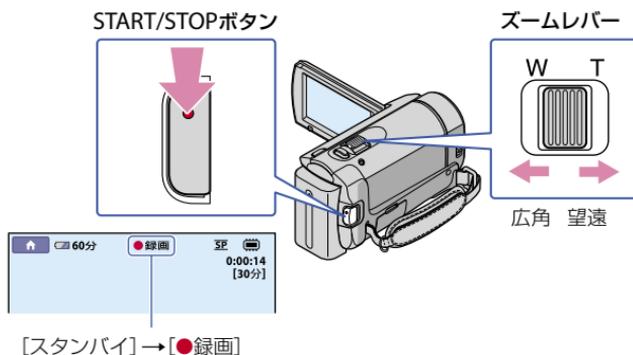
3 本機の液晶画面を開く。

本機の電源が入ります。

- 液晶画面が開いた状態から電源を入れるときは、POWERボタン(10ページ)を押します。



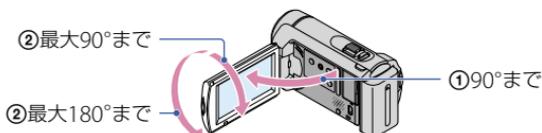
4 START/STOPボタンを押して動画の録画を始める。



撮影をやめるときは、START/STOPボタンをもう一度押します。

- ズームレバーを動かすとズームします。軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームします。

- 撮影中に液晶画面を閉じると、録画が中止されます。
- 動画の撮影可能時間は50ページをご覧ください。
- 動画のファイルサイズが2GBを超えると、自動的に次のファイルが生成されます。
- 記録メディアを変更できます(36ページ)。
- 動画の録画モードを変更できます(41ページ)。
- [手ブレ補正]機能は、お買い上げ時の設定は[入]です。
- 液晶画面を見やすく調節するには、液晶画面を90°まで開き(①)、見やすい角度に調節してください(②)。液晶画面をレンズ側に180°回して(②)自分撮り(対面撮影)できます。

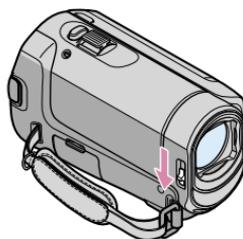


- デジタルズームを使うと、さらにズーム倍率を上げられます。🏠(ホーム) → ⚙️(設定) → [動画撮影設定] → [デジタルズーム] → 好みの設定 → [OK] → [戻る] → [X] をタッチして設定します。

静止画を撮る

お買い上げ時の設定では、静止画は内蔵メモリーに記録されます(36ページ)。

1 レンズカバーを開ける。

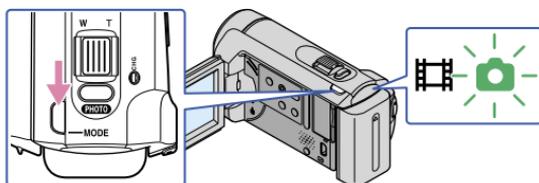


2 本機の液晶画面を開く。

本機の電源が入ります。

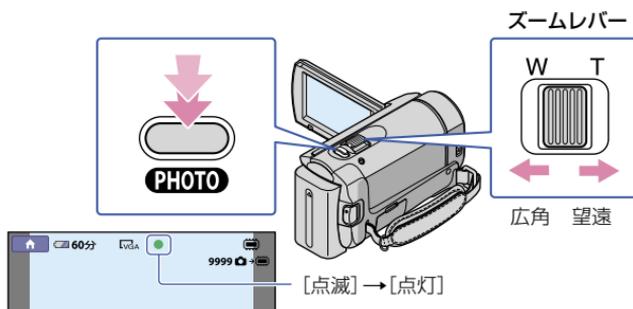
- 液晶画面が開いた状態から電源を入れるときは、POWERボタン(10ページ)を押します。

3 MODEボタンを押して、 (静止画) ランプを点灯させる。



- 画像の横縦比が4:3になります。

4 PHOTOボタンを軽く押してピントを合わせてから、そのまま深く押す。



- が消えると記録が完了します。
- ズームレバーを動かすとズームします。軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームします。

- 静止画の撮影可能枚数は、液晶画面で確認してください(52ページ)。
- 画像サイズは、**ホーム** → **設定** → **静止画撮影設定** → **画像サイズ** → 好みの設定 → **OK** → **決定** → **決定** をタッチして変更できます。
- 録画** 表示中は静止画撮影できません。

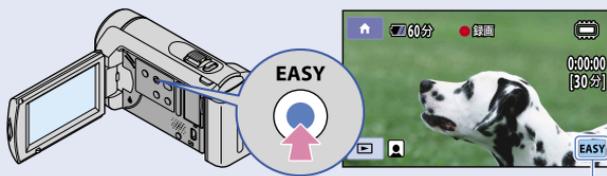
かんたんに撮って見るには(かんたん操作)

EASYボタンを押すだけです。

かんたん操作をやめるには、撮影状態、またはメニュー設定画面を終了してから、もう一度EASYボタンを押します。

本機で設定や調整ができる項目のうち、画像サイズや削除など基本的な項目だけが設定できるようになります。その他は自動設定されます。

- かんたん操作中は、ほとんどのメニュー項目はお買い上げ時の設定に自動で戻ります。(かんたん操作前の設定値が保持されるメニュー項目もあります。)



かんたん操作中は **EASY** が表示されます。

本機で見る

お買い上げ時の設定では、内蔵メモリーに記録した動画や静止画を再生します(36ページ)。

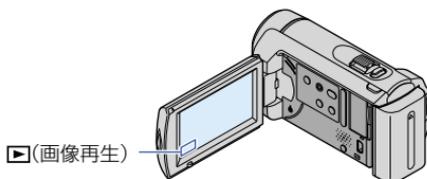
動画を見る

1 本機の液晶画面を開く。

本機の電源が入ります。

- 液晶画面が開いた状態から電源を入れるときは、POWERボタン(10ページ)を押します。

2 再生(画像再生)をタッチする。



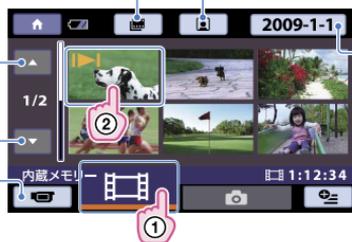
数秒後にビジュアルインデックス画面が表示されます。

3 動画(動画)タブ(①) → 見たい動画(②)をタッチする。

一定間隔ごとの場面の一覧へ(フィルムロールインデックス)

顔が写っている場面の一覧へ(フェイスインデックス)

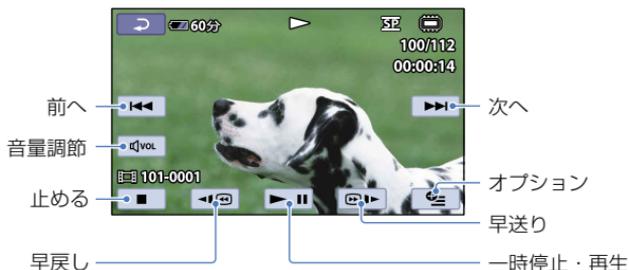
前へ
1/2
次へ
撮影に戻る



撮影日の一覧へ

- 最後に再生・撮影した動画や静止画に▶▶が表示されます。タッチすると前回のつづきから再生されます。(*メモリースティック PRO デュオ®に記録された静止画は▶▶)

動画の再生が始まります。



- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、ビジュアルインデックス画面に戻ります。
- 一時停止中に [一時停止] / [再生] をタッチすると、スロー再生が始まります。
- 再生中、[早戻し] / [早送り] はタッチする回数によって、約5倍速 → 約10倍速 → 約30倍速 → 約60倍速で再生します。
- 液晶/パネル内側のDISPボタンで、画面のボタンなどの表示/非表示を切り替えられます。
- 撮影時に日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが、自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中は表示されませんが、再生時に [ホーム] → [設定] → [画像再生設定] → [日時/データ表示] → お好みの設定 → [OK] → [戻る] → [X] をタッチすると表示できます。

音量を調節するには

動画再生中に、[音量] → [減] / [増] で調節 → [戻る] をタッチする。

- オプションメニューからも調節できます(42ページ)。

静止画を見る

ビジュアルインデックス画面で、 (静止画) タブ(①) → 見たい静止画(②) をタッチする。



静止画が再生されます。



- 静止画再生中に、ズームレバーを動かすと、再生ズームできます。再生ズーム中に画面をタッチすると、タッチした部分が画面中央に表示されます。
- 静止画の記録メディアが“メモリースティック PRO デュオ”のときは、**101**▶(再生フォルダ)が表示されます。

テレビにつないで見る

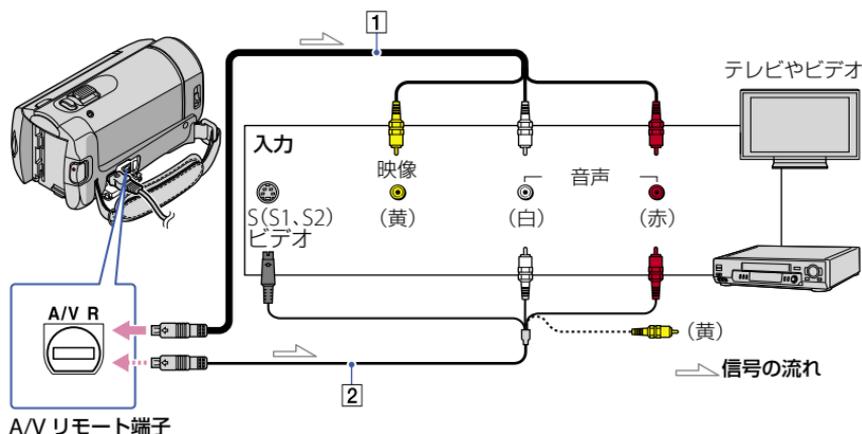
A/V接続ケーブル[1]またはS映像端子付きA/V接続ケーブル[2]で本機をテレビやビデオの入力端子につなぎます。本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントから取ってください(9ページ)。また、つなく機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 A/V接続ケーブル(付属)

他機の入力端子につなぎます。

2 S映像ケーブル付きのA/V接続ケーブル(別売)

S(S1, S2)映像端子のある機器につなぎときは、このケーブルで接続すると、付属のA/V接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ(左右音声端子)とS映像プラグ(S映像端子)のみ接続し、黄色いプラグ(映像端子)は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。



1 テレビの入力設定を切り替える。

- 詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

2 本機とテレビを、A/V接続ケーブル([1]、付属)またはS映像端子付きA/V接続ケーブル([2]、別売)でつなく。

- テレビの入力端子につないでください。

3 本機で動画・静止画を再生する(16ページ)。

- テレビ(ワイド/4:3)に合わせて画像の比率を変えるには、**↑**(ホーム) → **⚙**(設定) → [出力設定] → [TVタイプ] → [16:9]または[4:3] → **OK**をタッチします。

パソコンの準備をする (Windows)

「PMB(Picture Motion Browser)」を使うと次の操作を楽しむことができます。

- パソコンへの画像取り込み
 - 取り込んだ画像の閲覧、編集
 - ディスクの作成
 - 動画・静止画をWebにアップロード
- パソコンで動画・静止画を保存するには、あらかじめ付属のCD-ROMから「PMB」をインストールします。

- パソコンから本機の内蔵メモリーをフォーマットしないでください。正常に動作しなくなります。
- 「PMB」では、以下の12cmのディスクを使ってディスク作成ができます。
 - DVD-R/DVD+R/DVD+R DL :
書き換えできません。
 - DVD-RW/DVD+RW :
書き換えて再利用できます。

準備1 パソコン環境を確かめる

OS*
Microsoft Windows XP SP3 *2/Windows Vista SP1
CPU
Intel Pentium III 1GHz以上
必要なソフトウェア
DirectX 9.0c以降 (DirectXテクノロジーに対応しておりますので、ご使用の際はDirectXが組み込まれている必要があります。)
メモリー
256MB以上 その他OSが求める動作環境を満たしていること
ハードディスク
インストールに必要なディスク容量：約500MB(DVDディスクを作成する場合には、5GB以上必要になる場合もあります。)

ディスプレイ

解像度1,024×768ドット以上

その他

USB端子標準装備(Hi-Speed USB(USB 2.0準拠))、DVD作成が可能なディスクドライブ(インストールにはCD-ROMドライブが必要)

- すべてのパソコン環境についての動作を保証するものではありません。
- *1 工場出荷時にインストールされていることが必要です。アップグレードした場合やマルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- *2 64bit版は除きます。

Macintoshをお使いのときは

付属のソフトウェア「PMB」はMacintoshに対応していません。本機とMacintoshを接続して静止画を扱う方法については、下記のホームページをご覧ください。

<http://guide.d-imaging.sony.co.jp/mac/ms/jp/>

準備2 付属ソフトウェア「PMB」をインストールする

本機をパソコンにつなぐ前に、「PMB」をインストールします。

- お使いのパソコンに、すでに「PMB」がインストールされている場合は、インストール済みの「PMB」のバージョンを調べてください(「PMB」のメニューで、[ヘルプ]→[バージョン情報]の順にクリックすると表示されます)。付属のCD-ROMに記載されている「PMB」のバージョンと比較して、バージョンの高い方を後からインストールしてください。お使いのパソコンにインストールされている「PMB」のバージョンの方が高い場合は、一度アンインストールした後、バージョンの低い方から順にインストールしてください。バージョンの高い方からインストールした場合、「PMB」

の一部の機能が正常に動作しない場合があります。

- 「ハンディカムハンドブック」については43ページをご覧ください

1 パソコンに本機をつないでいないことを確認する。

2 パソコンの電源を入れる。

- Administrator権限・コンピュータの管理者でログオンしてください。
- 使用中のアプリケーションは、インストールの前に終了させておいてください。

3 パソコンのディスクドライブにCD-ROM(付属)をセットする。

インストール画面が表示されます。

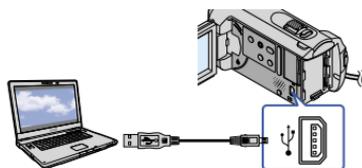
- インストール画面が表示されないときは、[スタート]→[コンピュータ](Windows XPの場合は[マイ コンピュータ])をクリックし、[SONYPICUTIL(E:)](CD-ROM)をダブルクリックする。

4 [インストール]をクリックする。



5 [日本語]を選び、[次へ]をクリックする。

6 本機の電源を入れ、USBケーブルで本機とパソコンをつなぐ。



本機に[USB機能選択]画面が表示されます。

7 本機の画面で[USB接続]をタッチする。

- [USB機能選択]画面が表示されないときは、**ホーム**→**その他の機能**→[USB接続]をタッチする。



8 パソコンで[続行]をクリックする。

9 使用許諾契約の内容をよく読み、同意される場合は○を●に変え、[次へ]→[インストール]をクリックする。

10 パソコンの画面の指示に従ってインストールする。

- ソフトウェアのインストール画面が表示される場合があります。画面の指示に従ってインストールしてください。
- パソコンの再起動を求められる画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動してください。

インストールが完了したら、デスクトップにアイコンが表示されます。パソコンからCD-ROMを取り出してください。



- 上記以外のアイコンが表示されることがあります。
- インストール方法によって、アイコンが表示されないことがあります。
- 「ハンディカムハンドブック」は、上記手順ではインストールされません(43ページ)。

本機とパソコンの接続を終了するには

- 1 パソコンのデスクトップ右下で、 アイコン → [USB大容量記憶装置を安全に取り外します] をクリックする。



- 2 本機の画面で [終了] → [はい] をタッチする。

- 3 USBケーブルを取りはずす。
-

ワンタッチでディスクを作る (ワンタッチディスク)

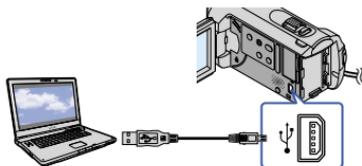
本機の  (ワンタッチディスク) ボタンを押すだけで、動画・静止画をディスクに保存できます。本機で撮影した動画・静止画のうち、まだ[ワンタッチディスク]機能を使ってディスクに保存していない動画・静止画を自動的に選んで保存します。

- あらかじめ「PMB」をインストールしてください(20ページ)。ただし、「PMB」は起動しないてください。
- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください(9ページ)。
- ワンタッチディスク機能では、内蔵メモリーに記録された動画・静止画のみ保存できます。

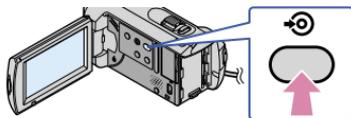
1 パソコンの電源を入れ、DVDドライブに空のディスクを入れる。

- 使用できるディスクの種類は20ページをご覧ください。
- PMB以外のソフトウェアが自動で起動した場合は終了してください。

2 本機の電源を入れ、USBケーブルで本機とパソコンをつなぐ。



3 (ワンタッチディスク) ボタンを押す。



4 パソコンの画面の指示に従って操作する。



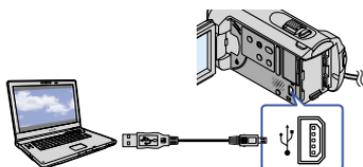
- ワンタッチディスクでは、パソコンに動画・静止画は保存されません。

パソコンに保存する (かんたんPCバックアップ)

本機で撮影した動画・静止画のうち、まだ[かんたんPCバックアップ]機能を使ってパソコンに保存していない動画・静止画を自動的に選んでパソコンに取り込みます。パソコンの電源は入れておきます。

- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください(9ページ)。

1 本機の電源を入れ、USBケーブルで本機とパソコンをつなぐ。



本機の液晶画面に[USB機能選択]画面が表示されます。

2 内蔵メモリーの画像を取り込むときは[USB接続]を、“メモリーステック PRO デュオ”の画像を取り込むときは[USB接続]をタッチする。



パソコンの画面に[ハンディカムユーティリティ]が起動します。

3 パソコンの画面で[かんたんPCバックアップ]→[取り込み開始]をクリックする。



取り込みが始まります。
取り込みが完了すると、「PMB」画面が表示されます。

- 取り込みが完了すると、動画解析画面が表示されることがあります。動画解析は時間がかかることがあります。動画解析中も、「PMB」の操作ができます。

- [選択画像取り込み]については、「PMBガイド」をご覧ください(25ページ)。

動画・静止画の保存先を変えるには上記手順3のハンディカムユーティリティ画面で、[かんたんPCバックアップ]→[変更]をクリックして表示される画面で変更します。

「PMB(Picture Motion Browser)」を起動する

デスクトップの「PMB」のショートカットをダブルクリックします。



- デスクトップにショートカットが表示されていないときは、[スタート]→[すべてのプログラム]→[Sony Picture Utility]→[PMB]の順にクリックして起動してください。

「PMB」を使って、動画・静止画の閲覧、編集、ディスク作成などができます。

「PMBガイド」を見る

「PMB」の使いかたを調べるには、「PMBガイド」をご覧ください。デスクトップの「PMBガイド」のショートカットをダブルクリックすると開きます。



- デスクトップにショートカットが表示されていないときは、[スタート]→[すべてのプログラム]→[Sony Picture Utility]→[ヘルプ]→[PMBガイド]の順にクリックしてください。「PMB」のヘルプメニューからも開けます。

ディスクを作る

パソコンに取り込んだ(24ページ)動画・静止画を選んで、ディスクを作ります。

1 パソコンの電源を入れ、DVDドライブに空のディスクを入れる。

- 使用できるディスクの種類は20ページをご覧ください。
- ソフトウェアが自動で起動した場合は終了してください。

2 デスクトップの「PMB」のショートカットをダブルクリックして、「PMB」を起動する。

- [スタート] → [すべてのプログラム] → [Sony Picture Utility] → [PMB]の順にクリックしても起動できます。

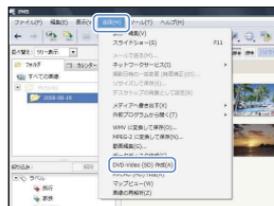
3 画面左の[フォルダ]または[カレンダー]をクリックしてフォルダや日付を選び、書き込む動画・静止画を選ぶ。

- Ctrlキーを押しながらサムネイルをクリックすると複数の動画・静止画を選べます。

4 画面上部の[活用] → [DVD-Video(SD)作成]をクリックする。

動画・静止画の選択画面が表示されます。

- 動画・静止画を追加したいときは、メイン画面で追加する動画・静止画を選び、動画・静止画の選択画面にドラッグアンドドロップします。



5 画面の指示に従ってディスクを作成する。

- ディスクの作成には時間がかかることがあります。

ディスクをコピーするには

[Video Disc Copier]を使って、記録済みのディスクをコピーできます。

[スタート] → [すべてのプログラム] → [Sony Picture Utility] → [Video Disc Copier]の順にクリックして起動します。操作方法は[Video Disc Copier]のヘルプをご覧ください。

動画を編集するには

動画から必要な部分を切り出して、別ファイルとして保存できます。
「PMB」で編集したい動画を選び、メニューで[活用] → [動画編集]をクリックすると動画編集画面が表示されます。操作方法は「PMBガイド」をご覧ください(25ページ)。

動画から静止画を作るには

動画から静止画を切り出して、別ファイルとして保存できます。
動画再生画面で、をクリックすると、[静止画で保存]画面が表示されます。操作方法は「PMBガイド」をご覧ください(25ページ)。

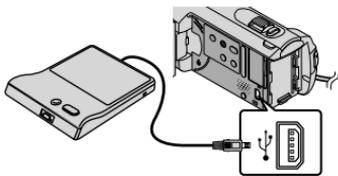


DVDライター 「DVDirect Express」でディスク を作る

別売りの専用DVDライター DVDirect Express(DVDダイレクト エクスプレス)を使うと、本機の液晶画面で操作しながら動画をディスクに保存できます。また、作成したディスクの画像を再生できます。DVDライターの取扱説明書も合わせてご覧ください。

- このセクションでは、DVDirect Expressを「DVDライター」と表現します。
- 次の未使用のディスクのみ使えます。
 - 12cmDVD-R
 - 12cmDVD+R
- 2層ディスクには対応していません。

1 本機の電源を入れ、DVDライターのUSBケーブルを本機のψ(USB)端子につなぐ。

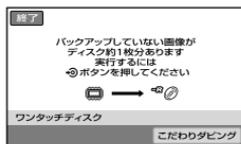


本機に「外付けドライブ」画面が表示されます。

- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください(9ページ)。バッテリーを使うと、DVDライターが動作しません。

2 DVDライターに未使用のディスクを入れて、ディスクトレイを閉じる。

本機に「ワンタッチディスク」画面が表示されます。



3 DVDライターのOK(ワンタッチディスク)ボタンを押す。

内蔵メモリーに記録した動画のうち、ディスクに保存されていない動画がディスクに書き込まれます。ディスク作成が終わると、DVDライターのディスクトレイが開きます。

- 本機のOK(ワンタッチディスク)ボタンでも操作できます。

4 1枚のディスクにおさまらないときは、手順2、3を繰り返す。

5 終了するには、本機の液晶画面でOK → [終了]をタッチする。

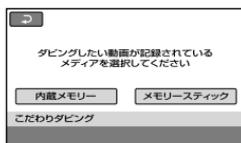
- ディスクが入っているときは、[ディスクを取り出す]をタッチして取り出してください。

6 DVDライターのディスクトレイを閉じてOKボタンを押し、USBケーブルを取りはずす。

画像を選んでディスクを作るには

好みの画像を選んでダビングしたり、同じディスクを複数枚作りたいときには、この操作を行ってください。

- ① 手順3で[こだわりダビング]をタッチする。



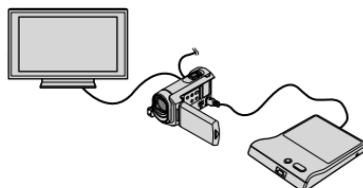
- ② 動画の記録メディアを選ぶ
本機に動画のサムネイルが表示されます。
- ③ ディスクに書き込みたい動画をタッチする。
✓が表示されます。



ディスク残量

- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。[戻る]で選択画面に戻ります。
 - 日付をタッチすると、日付から画像を探せます。
- ④ 本機で [OK] → [はい] をタッチする。
ディスクの作成が終わると、DVDライターのディスクトレイが開きます。
 - ⑤ DVDライターからディスクを取り出し、ディスクトレイを閉じる。
 - もう一枚同じディスクを作るときには、新しいディスクを入れてから、[同じディスクを作成する]をタッチしてください。
 - ⑥ 終了するには、本機で [機能を終了する] → [終了] をタッチする。
 - ⑦ DVDライターのディスクトレイを閉じて、USBケーブルを本機から取りはずす。

DVDライターでディスクを再生するには



- ① 本機の電源を入れ、DVDライターのUSBケーブルを本機のψ(USB)端子につなぐ。
[外付けドライブ]画面が表示されます。
 - 本機をテレビにつなぐと、テレビの画面で動画を楽しめます。テレビとの接続方法は19ページをご覧ください。
- ② 作成したディスクをDVDライターに入れる。
本機の液晶画面にディスク内の動画がビジュアルインデックスとして表示されます。
- ③ DVDライターの再生ボタンを押す。
動画が本機の液晶画面で再生されます。
 - 本機の液晶画面で操作することもできます(16ページ)。
- ④ 再生が終わったら、本機の液晶画面で[終了]→[ディスクを取り出す]をタッチして、ディスクを取り出す。
- ⑤ [OK] をタッチし、USBケーブルを取りはずす。
 - 本機の電源を必ず入れてください。DVDライターの電源は、本機から供給されます。
 - 同じディスクを複数作成できるのは、[こだわりダビング]のみです。
 - ディスク作成中は、次の操作をしないでください。
 - 本機の電源を切る
 - USBケーブルやACアダプターを抜く
 - 本機やDVDライターに振動を与える
 - 「メモリースティック PRO デュオ」を本機から取りはずす
 - 作成したディスクに追加記録はできません。

- [失敗しました]または[ワンタッチディスクに失敗しました]と本機に表示されたときは、ディスクを入れ換えて、もう一度やり直してください。
- 本機の画像を削除する前に、作成したディスクを再生してダビングが正しく行われたかを確認してください。
- ワンタッチディスク操作で動画が一枚のディスクに収まらないときは、それぞれのディスクの最後の動画が自動的に分割され、ディスクの容量いっぱいまで保存されます。
- 1枚のディスクに容量いっぱいまでダビングするときの作成時間は、約20～60分です。シーン数や録画モードによっては、それ以上かかる場合もあります。
- 作成したディスクは、一般的なDVDプレーヤーで再生できます。再生できない場合は、DVDライターと本機をつないで再生してください。
- 本機の液晶画面に、ディスクのマークが表示されます。

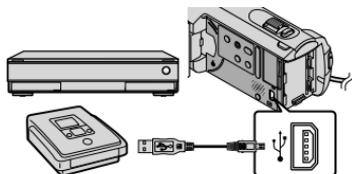
DVDirect Express 以外のDVDライ ターなどでディスク を作る

DVDirect Express以外のソニー製DVDライターなどのディスク作成機器と本機をUSBケーブルで接続して、動画をディスクに保存できます。つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ここでは、USBケーブルで本機とソニー製DVDライターを接続してディスクを作る操作を説明します。

- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください(9ページ)。

- 1 本機の電源を入れ、USBケーブル(付属)で本機の Ψ (USB)端子とDVDライターなどをつなぐ。



[USB機能選択]画面が表示されます。

- 2 本機の画面で、動画が内蔵メモリーに保存されているときは [USB接続] を、“メモリスティック PRO デュオ”のときは [USB接続] をタッチする。

- 3 接続先機器で録画操作を行う。

- 詳しくは、接続先機器の取扱説明書をご覧ください。

- 4 ディスク作成が終わったら、本機の画面で [終了] → [はい] をタッチする。

- 5 USBケーブルを取りはずす。

レコーダーなどで ディスクを作る

本機をディスクレコーダーや、DVDirect Express以外のソニー製DVDライターなどにA/V接続ケーブルで接続すると、本機の画像をディスクやビデオカセットへダビングできます。下図の①か②どちらかの方法で接続してください。つなく機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。あらかじめ、ダビングする画像を保存した記録メディアを選んでください(36ページ)。

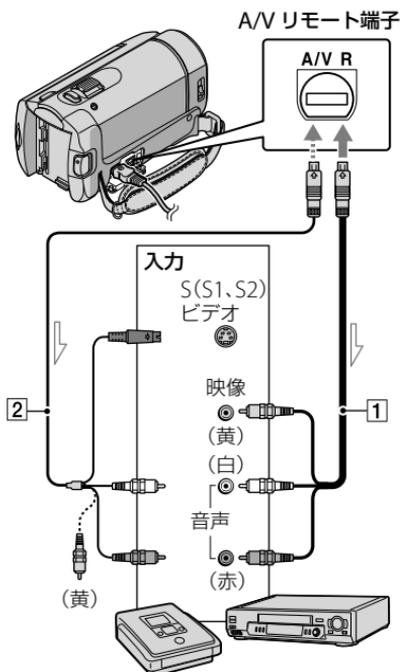
- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください(9ページ)。

① A/V接続ケーブル(付属)

他機の入力端子につなぎます。

② S映像ケーブル付きのA/V接続ケーブル(別売)

S(S1、S2)映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のA/V接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ(左右音声端子)とS映像プラグ(S映像端子)のみ接続し、黄色いプラグ(映像端子)は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。



➡ 信号の流れ

1 録画側のディスクレコーダーなどに記録用ディスクなどをセットする。

- 入力切り換えスイッチがある場合は、「入力」にしてください。

2 本機と録画側のディスクレコーダーなどを、A/V接続ケーブル(①、付属)またはS映像端子付きA/V接続ケーブル(②、別売)でつなぐ。

- 接続先機器の入力端子につないでください。

3 本機で再生を始め、接続先機器で録画を始める。

- 詳しくは、接続先機器の取扱説明書をご覧ください。

4 ダビングが終わったら、接続先機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。

- アナログデータを経由してダビングするため、画質が劣化する場合があります。
- 接続した機器の画面にカウンターなどを出さない場合は、**🏠**(ホーム) → **⚙️**(設定) → [出力設定] → [画面表示出力] → [パネル] (お買い上げ時の設定) → **OK** → **🔍** → **✖** をタッチしてください。
- 日時やカメラデータをダビングしたいときは、**🏠**(ホーム) → **⚙️**(設定) → [画像再生設定] → [日時/データ表示] → お好みの設定 → **OK** → **🔍** → **✖** をタッチしてください。
また、**🏠**(ホーム) → **⚙️**(設定) → [出力設定] → [画面表示出力] → [ビデオ出力/パネル] → **OK** → **🔍** → **✖** をタッチしてください。
- テレビなどの表示機器の画面サイズが4:3の場合は、**🏠**(ホーム) → **⚙️**(設定) → [出力設定] → [TVタイプ] → [4:3] → **OK** → **🔍** → **✖** をタッチしてください。
- 他機がモノラル(ひとつの音声入力・出力)の場合は、A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)または赤いプラグ(右音声)を音声入力へつなぎます。

動画・静止画を削除する

不要な動画・静止画を削除すると、削除した分の記録メディアの容量を元に戻せます。あらかじめ、削除したい動画・静止画が保存されている記録メディアを設定してください(36ページ)。

1 **↑**(ホーム) → **≡**(その他の機能) → **[削除]** をタッチする。

2 動画を削除するときは **[削除]** → **[全削除]** をタッチする。

- 静止画を削除するときは **[削除]** → **[全削除]** をタッチする。

3 削除したい動画・静止画をタッチして、**✓** を付ける。



4 **[OK]** → **[はい]** → **[OK]** → **[X]** をタッチする。

- 動画をすべて削除するには以下の順にタッチします。

手順2で **[削除]** → **[全削除]** → **[はい]** → **[はい]** → **[OK]** → **[X]**

- 静止画をすべて削除するには以下の順にタッチします。

手順2で **[削除]** → **[全削除]** → **[はい]** → **[はい]** → **[OK]** → **[X]**

記録メディアを初期化する

初期化とは記録した動画・静止画をすべて削除して、記録メディアの容量を元に戻すことです。

- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください(9ページ)。
- 大切な画像は保存してから(20ページ)、初期化してください。

1 **↑**(ホーム) → **Ⓜ**(メディア管理) → **[メディア初期化]** をタッチする。

2 初期化する記録メディア([内蔵メモリー]または[メモリースティック])をタッチする。

3 **[はい]** → **[はい]** → **[OK]** をタッチする。

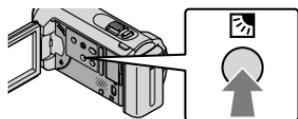
- [実行中]が表示されているときは、液晶画面の開閉やボタンを操作したり、“メモリースティック PRO デュオ”を取り出したり、ACアダプターをはずしたりしないでください。(初期化中はアクセスランプが点灯・点滅します。)
- プロテクトされた動画・静止画も削除されます。

状況に合わせて撮る

メニューで調節可能な設定もあります
(38ページ)。

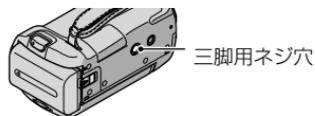
逆光で撮る(逆光補正)

 ボタンを押すと画面に  が出て、逆光補正します。解除するには、もう一度押します。



三脚を使う

三脚(別売、ネジの長さ5.5mm以下)を取り付けます。安定した動画・静止画を撮影できます。



記録メディアを変える

本機は、記録、再生、編集する記録メディアを、動画・静止画ごとに内蔵メモリーまたは“メモリースティック PRO デュオ”に設定できます。お買い上げ時の設定では、動画・静止画ともに内蔵メモリーに記録されます。



- 設定した記録メディアに保存されている画像が記録、再生、編集されます。
- 動画の撮影可能時間は50ページをご覧ください。

動画の記録メディアを変える

- 1 **🏠(ホーム) → 📷(メディア管理) → [動画メディア設定] をタッチする。**

[動画メディア設定] 画面が表示されます。

- 2 **希望の記録メディアをタッチする。**

- 3 **[はい] → [OK] をタッチする。**

記録メディアが切り替わります。

静止画の記録メディアを変える

- 1 **🏠(ホーム) → 📷(メディア管理) → [静止画メディア設定] をタッチする。**

[静止画メディア設定] 画面が表示されます。

- 2 **希望の記録メディアをタッチする。**

- 3 **[はい] → [OK] をタッチする。**

記録メディアが切り替わります。

記録メディアの設定を確かめるには

動画の記録メディアを確かめるには、📷(動画)ランプを点灯させます。静止画は、📷(静止画)ランプを点灯させます。画面右上に、設定されている記録メディアが表示されます。



📷: 内蔵メモリー

📷: “メモリースティック PRO デュオ”

“メモリースティック PRO デュオ”を入れる

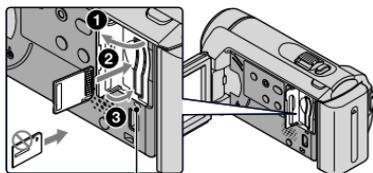
- “メモリースティック PRO デュオ”に動画や静止画を記録する場合は、記録メディアを[メモリースティック]に設定してください(36ページ)。

本機で使える“メモリースティック PRO デュオ”

- 動画撮影時は、512MB以上の次のマークが付いた“メモリースティック PRO デュオ”の使用をおすすめします。
 - MEMORY STICK PRO Duo (“メモリースティック PRO デュオ”)*
 - MEMORY STICK PRO-HG Duo (“メモリースティック PRO-HG デュオ”)
 - * Mark2表示があるものとなしもの両方を使えます。
- 本機で動作確認している“メモリースティック PRO デュオ”は16GBまでです。

1 “メモリースティック デュオ”カバーを開き、“メモリースティック PRO デュオ”を「カチッ」というまで押し込む。

- 誤った向きで無理に入れると、“メモリースティック PRO デュオ”や“メモリースティック デュオ”スロット、画像データが破損することがあります。
- 入れた後は“メモリースティック デュオ”カバーを閉じてください。



アクセスランプ

■(動画)ランプの点灯中に、新しい“メモリースティック PRO デュオ”を入れたときは、[管理ファイル新規作成]画面が表示されます。

2 [はい]をタッチする。

- “メモリースティック PRO デュオ”に静止画のみを記録する場合は、[いいえ]をタッチする。

- 手順2で[管理ファイルを新規作成できません 空き容量がたりない可能性があります]と表示されたときは、“メモリースティック PRO デュオ”を初期化してください(34ページ)。

“メモリースティック PRO デュオ”を取り出すには

“メモリースティック デュオ”カバーを開き、“メモリースティック PRO デュオ”を軽く1回押して取り出します。

- 撮影中に“メモリースティック デュオ”カバーを開けないでください。
- 出し入れ時には“メモリースティック PRO デュオ”の飛び出しにご注意ください。

内蔵メモリーの動画・静止画を“メモリースティック PRO デュオ”にダビング、コピーするには

⬆(ホーム) → 田(その他の機能) → [動画ダビング] / [静止画コピー]をタッチして、画面の表示に従って操作してください。

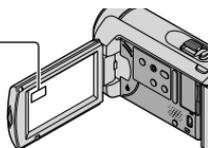
メニューで設定を変える

- 「ハンディカムハンドブック」では、メニューをカラー写真入りで説明しています(43ページ)。

🏠 ホームメニューの使いかた

🏠(ホーム)をタッチすると、ホームメニューが表示されます。本機の設定変更などができます。

🏠(ホーム)



1 希望のカテゴリー → メニュー項目の順にタッチして設定を変更する。

メニュー項目



カテゴリー

2 画面の表示に従って設定する。

3 設定が終わったら [OK] をタッチする。

- 希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチします。
- 前の画面に戻るには、◀をタッチします。
- ホームメニュー画面を消すには、✕をタッチします。

- 灰色で表示されるメニュー項目や設定は使えません。

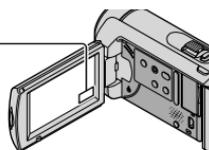
ヘルプ機能の使いかた

ホームメニューに説明(ヘルプ)を表示させるには、ホームメニュー画面で ? (ヘルプ)をタッチします(下辺がオレンジ色に変わります)。次に、内容を知りたいメニュー項目をタッチします。

⊕ オプションメニューの使いかた

パソコンの右クリックのような役割がオプションメニューです。⊕(オプション)をタッチすると、そのときに設定できるメニュー項目が表示されます。

⊕(オプション)



1 タブ → 希望のメニュー項目の順にタッチして設定を変更する。

メニュー項目



タブ

2 設定が終わったら、**OK** をタッチする。

- 希望の項目が画面にないときは、他のタブをタッチしてください。(タブが表示されないこともあります。)
- かんたん操作中はオプションメニューを使えません。

🏠 ホームメニュー一覧

📷 (撮影) カテゴリ

動画	12ページ
静止画	14ページ

📺 (画像再生) カテゴリ

V. インデックス	16ページ
🎞️ フィルムロール	16ページ
👤 フェイス	16ページ
📄 プレイリスト	動画のリスト(プレイリスト)を一覧・再生します。

🔧 (その他の機能) カテゴリ

削除

🗑️ 削除	34ページ
🗑️ 削除	34ページ

動画から静止画作成 動画のお好みの場面から静止画を作ります。

動画ダビング 37ページ

静止画コピー

📄 コピー	37ページ
📄 コピー	37ページ

編集

🗑️ 削除	34ページ
🗑️ 削除	34ページ
🔒 プロテクト	動画を削除できないように設定します。
🔒 プロテクト	静止画を削除できないように設定します。
✂️ 分割	動画を分割します。

プレイリスト編集

➕ 追加	プレイリストに動画を追加します。
📅 日付指定追加	プレイリストに動画を日付単位で追加します。
🗑️ 消去	プレイリストから動画を消去します。
🗑️ 全消去	プレイリストから動画を一括消去します。
📄 移動	プレイリストの順番を変えます。

USB接続

🔌 USB接続	内蔵メモリーをUSB接続します。
🔌 USB接続	“メモリースティック PRO デュオ”をUSB接続します。
💿 ワンタッチディスク	23ページ

🔋 バッテリーインフォ バッテリー情報を表示します。

📁 (メディア管理) カテゴリ

📁 動画メディア設定	36ページ
------------------	-------

静止画メディア設定	36ページ
メディア情報	記録メディアの空き容量などを表示します。
メディア初期化	34ページ
管理ファイル修復	45ページ

(設定) カテゴリー

動画撮影設定

録画モード	動画の録画モードを設定します。動きが速い被写体を撮るときは、[HQ]など高画質設定にすることをおすすめします。
ワイド切換	撮影する動画の横縦比を設定します。
デジタルズーム	13ページ
 手ブレ補正	13ページ
オートスロシャッタ	自動でシャッタースピードを調節します。
ガイドフレーム	水平/垂直の目安になる枠を表示します。
 残量表示設定	記録メディア残量の表示方法を設定します。
 フェイス設定	フェイスインデックスの記録を設定します。

静止画撮影設定

 画像サイズ	静止画のサイズを設定します。
ファイルナンバー	ファイル番号の付けかたを設定します。
オートスロシャッタ	自動でシャッタースピードを調節します。
ガイドフレーム	水平/垂直の目安になる枠を表示します。

画像再生設定

日時/データ表示	再生時に画像の詳細情報を表示します。
----------	--------------------

音/画面設定

音量	17ページ
操作音	10ページ
パネル明るさ	液晶画面の明るさを調節します。
パネルBLレベル	液晶画面のバックライトを調節します。
パネル色の濃さ	液晶画面の濃さを調節します。

出力設定

TVタイプ	19ページ
画面表示出力	画面表示をテレビに出すかを設定します。

時計設定

日時あわせ	10ページ
エリア設定	10ページ
サマータイム	10ページ

一般設定

デモモード	デモンストレーションの設定をします。
キャリブレーション	タッチパネルの反応位置を調節します。
自動電源オフ	自動電源オフ(9ページ)の設定を変えます。
パネルで電源オン	液晶画面の開閉で電源オン/オフするかを設定します。

- かんたん操作中は、[音/画面設定]は[音設定]になります。

☰ オプションメニュー一覧

下記は、オプションメニューからのみ設定できる項目です。

タブ

SPOT測光フォーカス	タッチした被写体に明るさとピントを合わせます。
スポット測光	タッチした被写体に合わせて動画・静止画の明るさを調節します。
スポットフォーカス	タッチした被写体にピントを合わせます。
テレマクロ	背景をぼかして撮影します。
カメラ明るさ	動画・静止画の明るさを調節します。
フォーカス	手動でピントを合わせます。
シーンセレクション	夜景や海岸など場面に合った設定を選択します。
ホワイトバランス	色合いを調節します。

タブ

フェーダー	フェードイン、アウト効果を加えます。
-------	-------	--------------------

タブ

内蔵ズームマイク	ズームに連動して音声を記録します。
マイク基準レベル	録音レベルを設定します。
セルフタイマー	静止画撮影時に使用します。

状況によってタブが異なる/タブなし

スライドショー	静止画を連続再生します。
スライドショー設定	スライドショーの設定をします。

「ハンディカムハンドブック」で調べる

「ハンディカムハンドブック」は、パソコンで見る電子ガイドです。本機の機能をカラー写真入りで説明しています。一歩進んだ使いかたを知りたいときにご覧ください。

1 Windowsパソコンにインストールするには、付属のCD-ROMをパソコンに入れる。

2 表示されるインストール画面で「ハンディカムハンドブック」をクリックする。

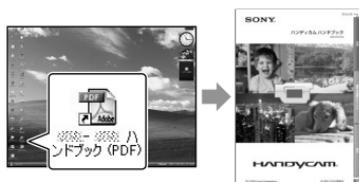


3 言語と、お使いの機種名を選び、「ハンディカムハンドブック (PDF)」をクリックする。

- お使いの機種名は、本機の底面に記載されています。

4 [終了] → [終了]をクリックして、パソコンからCD-ROMを取り出す。

「ハンディカムハンドブック」を見るときは、デスクトップのショートカットをダブルクリックしてください。



- Macintoshをお使いのときは、CD-ROM内の [Handbook] - [P] フォルダから [Handbook.pdf] をコピーしてください。
- 「ハンディカムハンドブック」を見るには Adobe Reader が必要です。アドビ社のホームページから無償でダウンロードできます。
<http://www.adobe.co.jp>
- 付属のパソコンソフト「PMB」については、「PMBガイド」をご覧ください(25ページ)。

? 故障かな?と 思ったら

修理に出す前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。

修理に出される前のご注意

- 修理内容によっては内蔵メモリーの初期化または交換が必要となることがあります。その場合、内蔵メモリー内のデータはすべて消去されますので、修理をお受けになる前に内蔵メモリー内のデータを保存(バックアップ)してください。修理によってデータが消去された場合の補償については、ご容赦ください。
- 修理において、不具合症状の発生・改善の確認のために、必要最小限の範囲で内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。ただし、それらのデータをソニー側で複製・保存することはありません。
- 本機の症状について詳しくは「ハンディカムハンドブック」(43ページ)、パソコンとの接続については「PMBガイド」(25ページ)をご覧ください。

電源が入らない。

- 充電されたバッテリーを取り付ける(8ページ)。
- ACアダプターをコンセントに差し込む(8ページ)。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源を入れてから撮影が可能になるまで数秒かかりますが、故障ではありません。
- 電源(バッテリーまたはACアダプターの電源コード)を取りはずし、約1分後に電源を取り付け直す。それでも操作できないときは、RESET(リセット)ボタン(53ページ)を先のとがったもので押す(すべての設定が解除されます)。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源

を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を入れた状態でしばらく放置する。それでも操作できないときは一度電源を切り、暖かい場所に移動してしばらくしてから電源を入れる。

本機が温かくなる。

- 本機を使用中に本機が温かくなることがありますが、故障ではありません。

電源が途中で切れる。

- ACアダプターを使用する(9ページ)。
- もう一度電源を入れる。
- バッテリーを充電する(8ページ)。

START/STOPボタンやPHOTOボタンを 押しても撮影できない。

- MODEボタンを押して、 (動画)または  (静止画)ランプを点灯させる。
- 直前に撮影した画像を記録メディアに書き込んでいる。書き込んでいる間は、新たに撮影できません。
- 記録メディアの空き容量がない。不要な動画・静止画を削除する(34ページ)。
- 動画のシーン数や静止画の枚数が本機で撮影できる上限を超えている。不要な動画・静止画を削除する(34ページ)。

「PMB」がインストールできない。

- パソコンの環境、インストール手順を確認する(20ページ)。

「PMB」が正しく動作しない。

- 「PMB」を終了し、パソコンを再起動する。

本機がパソコンに認識されない

- キーボード、マウス、本機以外で、パソコンのUSB端子につながれている他の機器を取りはずす。
- パソコンと本機からUSBケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから、正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ。

自己診断/警告表示

液晶画面に、次のように表示されます。2、3回対応を繰り返しても正常に戻らないときは、ソニーの相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。

C:04:□□

- “インフォリチウム”バッテリーHシリーズ以外のバッテリーが使われている。必ず“インフォリチウム”バッテリーHシリーズを使う(9ページ)。
- ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子にしっかりつなぐ(8ページ)。

C:13:□□ / C:32:□□

- 電源をいったん取りはずし、取り付け直してからもう一度操作する。

E:20:□□ / E:31:□□ / E:61:□□ /

E:62:□□ / E:91:□□ / E:94:□□

- 修理が必要です。ソニーの相談窓口(裏表紙)にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

101-0001

- 遅い点滅のときは、ファイルが壊れている。または扱えないファイル。



- 本機の内蔵メモリーの容量がいっぱいである。内蔵メモリー内の不要な動画・静止画を削除する(34ページ)。
- 本機の内蔵メモリードライブに異常が発生した可能性がある。



- バッテリー残量が少ない。



- “メモリースティック PROデュオ”が入っていない(36ページ)。
- 点滅のときは、撮影に必要な空き容量がない、または少なくなっている。不要な動画・静止画を削除する(34ページ)。または動画・静止画を保存(バックアップ)してから“メモリースティック PROデュオ”を初期化する(34ページ)。
- 管理ファイルが壊れている。🏠(ホーム)→📁(メディア管理)→[管理ファイル修復]→記録メディアの順にタッチして、管理ファイルの状態をチェックする。



- “メモリースティック PROデュオ”に問題がある。本機で初期化する(34ページ)。



- 本機では使えない“メモリースティック デュオ”を入れた(37ページ)。



- “メモリースティック PROデュオ”が書き込み不能になっている。



- 手ブレ状態になっている。カメラを固定する。ただし、手ブレマークは消えません。



- 記録メディアの空き容量がない。不要な動画・静止画を削除する(34ページ)。

取り扱い上のご注意

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
炎天下や熱器具の近くや、または夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
正しく撮影できないことがあります。
- TVやラジオ、チューナーの近く
雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ほこりの多い場所
砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やレンズが太陽に向いたままとなる場所（窓際や室外など）
液晶画面を傷めます。

長時間使用しないときは

- 本機を良好な状態で長期にわたってお使いいただくために、月に1回程度、本機の電源を入れて撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから保管してください。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押すと画面にムラが出ることがあります。また、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でお使いになると画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

液晶画面のお手入れ

- 液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。別売の液晶クリーニングキットを使うときは、クリーニングリキッドを直接液晶画面にかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませて使ってください。

本機表面のお手入れ

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下は避けてください。
 - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類
 - 上記が手に付いたまま本機を扱う
 - ゴムやビニール製品との長時間接触

カメラレンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- カビの発生を防ぐために、定期的にお手入れして、風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使っている限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し、3か月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。ただし、充電式電池が放電していても、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

充電方法

本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、液晶画面を閉じて24時間以上放置します。

本機の廃棄・譲渡に関するご注意

本機で[メディア初期化]やフォーマットを行っても、内蔵メモリー内のデータは完全には消去されることがあります。本機を譲渡するときは【 データ消去】(43ページの「[ハンディカムハンドブック]で調べる」をご覧ください)を行って、内蔵メモリー内のデータの復元を困難にすることをおすすめします。本機を廃棄するときは、本機を物理的に破壊することをおすすめします。

“メモリスティック PRO デュオ”を廃棄・譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「初期化」や「削除」では、“メモリスティック PRO デュオ”内のデータは完全には消去されないことがあります。“メモリスティック PRO デュオ”を譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また“メモリスティック PRO デュオ”を廃棄するときは、“メモリスティック PRO デュオ”本体を物理的に破壊することをおすすめします。

主な仕様

システム

信号方式：NTSCカラー、EIA標準方式

ビデオ記録方式

映像：MPEG2-PS

音声：Dolby Digital 2ch

ドルビーデジタルステレオクリエイター搭載

静止画ファイルフォーマット

：DCF Ver2.0準拠

：Exif Ver2.21準拠

：MPF Baseline準拠

記録メディア(動画・静止画)

内蔵メモリー 8GB

“メモリースティック PRO デュオ”

容量は、1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。

また管理用ファイルなどを含むため、実際に使用できる容量は若干減少する場合があります。

撮像素子：2.25 mm(1/8型) CCD固体撮像素子

総画素数：約68万画素

動画時有効画素数(16:9)：約41万画素

静止画時有効画素数(16:9)：約25万画素

静止画時有効画素数(4:3)：約34万画素

ズームレンズ：カール ツァイス バリオテッサ

60倍(光学)、120倍、2 000倍(デジタル)

F1.8～6.0

f=1.8～108 mm

35mmカメラ換算では

動画撮影時：

39～2 340 mm(16:9)

静止画撮影時：

44～2 640 mm(4:3)

色温度切り換え：[オート]、[ワンプッシュ]、[屋内]

(3 200 K)、[屋外] (5 800 K)

最低被写体照度：6 lx(ルクス)([オートスロシャッタ]

入]、シャッタースピード1/30秒)

入/出力端子

A/Vリモート端子：映像音声出力端子

USB端子：mini-AB

液晶画面

画面サイズ：6.7 cm(2.7型、アスペクト比16:9)

総ドット数：123 200ドット

横560×縦220

電源部、その他

電源電圧：バッテリー端子入力 DC 6.8 V/7.2 V

DC端子入力 DC 8.4 V

消費電力：液晶画面使用時、明るさ標準：

内蔵メモリー：2.0 W

“メモリースティック PRO デュオ”：2.0 W

動作温度：0℃～40℃

保存温度：-20℃～+60℃

外形寸法：53×59×107 mm

(突起部を含む)(幅×高さ×奥行き)

53×59×113 mm

(突起部を含む、付属バッテリー装着状態)

(幅×高さ×奥行き)

本体質量：

約200 g(本体のみ)

撮影時総質量：

約240 g(付属バッテリー、“メモリースティック PRO デュオ”含む)

ACアダプター AC-L200C/AC-L200D

電源：AC 100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz

消費電力：18 W

定格出力：DC 8.4 V*

動作温度：0℃～40℃

保存温度：-20℃～+60℃

外形寸法：約 48×29×81 mm(最大突起部をのぞく)(幅×高さ×奥行き)

質量：約170 g(本体のみ)

* その他の仕様についてはACアダプターのラベルをご覧ください。

リチャージャブルバッテリーパック NP-FH30

最大電圧：DC 8.4 V

公称電圧：DC 7.2 V

容量：3.6 Wh(500 mAh)

使用電池：Li-ion

本機やアクセサリの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

付属バッテリーでの充電・撮影・再生可能時間の目安(分)

記録メディア	内蔵メモリー/“メモリースティック PRO デュオ”
充電時間 (満充電)	115
連続撮影時	100
実撮影時	50
再生可能時間	135

- 撮影、再生可能時間は、満充電からのおよその時間です。
- 撮影条件：録画モード[SP]
- 実撮影時間とは、録画スタンバイ、動画・静止画モードの切り換え、ズームなどの操作を繰り返したときの時間です。

内蔵メモリーへの撮影可能時間の目安(分)

- 録画モードの設定は、 (ホーム) →  (設定) → [動画撮影設定] → [録画モード] をタッチします。お買い上げ時は[SP]です(41ページ)。

録画モード	録画時間
[HQ]	120 (105)
[SP]	170 (105)
[LP]	360 (230)

“メモリースティック PRO デュオ”への撮影可能時間の目安の例

録画モード	容量4GBのときの録画時間(分)
[HQ]	55 (50)
[SP]	80 (50)
[LP]	170 (110)

- カッコ内は最低録画時間
- ソニー製“メモリースティック PRO デュオ”使用時。
- 撮影可能時間は撮影環境や被写体の状態、[録画モード]、“メモリースティック”の種類によっても変わります。
- 充電・撮影・再生可能時間について
 - 25℃で使用したときの時間です。10～30℃でのご使用をおすすめします。

- 低温時など、使用状態によって、撮影・再生可能時間は短くなります。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

修理に出される前に

修理に出される前のご注意(44ページ)をご覧ください。

部品の保有期間について

当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

部品の交換について

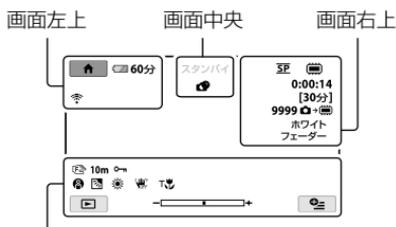
この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

商標について

- ・“ハンディカム”、**HANDYCAM**はソニー株式会社の登録商標です。
- ・“Memory Stick”、“メモリスティック”、、“メモリスティック デュオ”、“MEMORY STICK DUO”、“メモリスティック PRO デュオ”、“MEMORY STICK PRO DUO”、“メモリスティック PRO-HG デュオ”、“MEMORY STICK PRO-HG DUO”、“メモリスティック マイクロ”、“マジックゲート”、“**MAGICGATE**”、“MagicGate Memory Stick”、“マジックゲート メモリスティック”、“MagicGate Memory Stick Duo”、“マジックゲート メモリスティック デュオ”はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- ・InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。
- ・DVDirectはソニー株式会社の商標です。
- ・Dolby, ドルビー, ダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- ・Microsoft, Windows, Windows Media, Windows Vista, DirectXはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・Macintosh, Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・Intel, Intel Core, Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- ・Adobe, Adobe logo, Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では、™、®マークは明記していません。

画面表示



画面下

画面左上

表示	意味
	ホームボタン
	セルフタイマー
	内蔵ズームマイク
	マイク基準レベル低
	ワイド切換
	バッテリー残量の目安
	戻るボタン

画面中央

表示	意味
[スタンバイ]/ [●録画]	撮影状態
	静止画サイズ
	スライドショー設定
	警告
	再生表示

画面右上

表示	意味
	録画モード(HQ/SP/LP)
	記録/再生/編集メディア
0:00:00	カウンター(時:分:秒)
[00分]	記録残量時間の目安
	フェーダー
9999	およその静止画撮影可能枚数と記録メディア
101	再生フォルダ

表示	意味
100/112	再生中の動画・静止画の番号/記録している動画・静止画の数

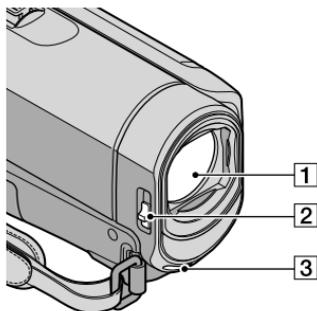
画面下

表示	意味
	フェイスインデックス
	手動フォーカス
	シーンセクション
	ホワイトバランス
	手ブレ補正切
	SPOT測光フォーカス/フレキシブルスポット測光/カメラ明るさ
	テレマクロ
	逆光補正
	オプションボタン
	画像再生ボタン
	スライドショーボタン
101-0001	データファイル名
101-0005	
	プロテクト
	ビジュアルインデックス表示ボタン

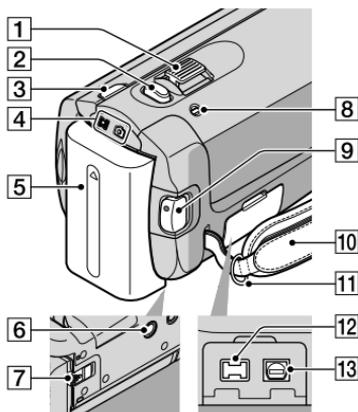
- 表示内容や位置は目安であり、実際と異なることがあります。

各部の名前

()内は参照ページです。

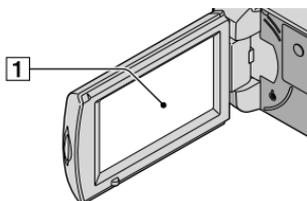


- ① レンズ(カールツァイスレンズ搭載)
- ② LENS COVER(レンズカバー)スイッチ (12, 14)
- ③ 内蔵マイク

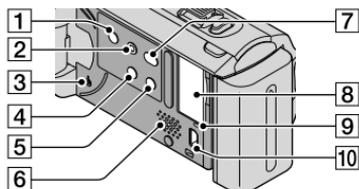


- ① ズームレバー(13, 15)
- ② PHOTO(フォト)ボタン(14)
- ③ MODE(モード)ボタン(14)
- ④ 動画(動画)・静止画(静止画)ランプ(10)
- ⑤ バッテリーパック(8)
- ⑥ 三脚用ネジ穴(35)

- ⑦ BATT(バッテリー)取りはずしレバー(9)
- ⑧ CHG(充電)ランプ(8)
- ⑨ START/STOP(スタート/ストップ)ボタン(13)
- ⑩ グリップベルト(12)
- ⑪ ショルダーベルト取り付け部
- ⑫ DC IN端子(8)
- ⑬ AVリモート端子(19, 32)



- ① 液晶画面・タッチパネル(10)
液晶画面を180°回転させたまま、外側に向けて本体に収められます。本機で画像を再生するときに便利です。



- ① POWER(電源)ボタン(10)
- ② EASY(かんたん操作)ボタン(15)
- ③ RESET(リセット)ボタン
日時を含めすべての設定が解除されます。
- ④ 逆光補正ボタン(35)
- ⑤ DISP(画面表示)ボタン(17)
- ⑥ スピーカー
- ⑦ ワンタッチ ディスクボタン(23)
- ⑧ "メモリスティック デュオ" スロット (37)

その他

- ⑨ アクセスランプ(内蔵メモリー、“メモリースティック PRO デュオ”)(37)
点灯、点滅中は、データの読み書きを行っています。
- ⑩ Ψ (USB)端子(20、23、24、28、31)



下記の注意事項を守らないと、**火災、大けがや死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。



分解禁止

内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。



禁止

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。



禁止

撮影時は周囲の状況に注意を払う

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。



禁止

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。



禁止

機器本体や付属品、記録メディアは乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や“メモリースティック”などを飲み込む恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



禁止

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。

また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。



指示

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。



禁止



下記の注意事項を守らないと、けがや財産に損害を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。



禁止

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となる場合があります。



禁止

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、AV接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となる場合があります。充分注意して接続・配置してください。



指示

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中のバッテリーや製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となる場合があります。



禁止

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となる場合があります。



禁止

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となる場合があります。



プラグをコンセントから抜く

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となる場合があります。



禁止

電池や付属品、記録メディア、アクセサリなどを取りはずすときは、手をそえる

電池や“メモリスティック”などが飛び出すことがあり、けがの原因となる場合があります。



指示

⚠ 危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。



- バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオープンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。



- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。



- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取りはずしておく。



お願い

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については
有限責任中間法人JBRCホームページ
<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html>
を参照してください。



Li-ion
リチウムイオン電池

索引

ア

アフターサービス	51
インストール	20
お手入れ	47
お問合せ先	裏表紙
オプションメニュー	38, 42
主な仕様	49
音量	17

カ

海外で充電	9
各部の名前	53
カスタマー登録	裏表紙
画面表示	52
かんたんPCバックアップ	24
かんたん操作	15
逆光補正	35
記録メディア	36
警告表示	45
故障かな?と思ったら	44
コピー	26, 37
コンセントの電源で使う	9

サ

削除	34
撮影・再生可能時間	50
三脚	35
自己診断	45
充電	8
修理	44
初期化	34
ズーム	13, 15, 18
静止画	14
操作音	10
ソフトウェア	20

タ

ダビング	37
使いかたの流れ	5
ディスクレコーダー	32
ディスクをコピーする	26
ディスクを作る	26
テレビ	19
電源	10

動画	12, 16
動画から静止画を作る	27
動画を編集する	27
取り扱い上のご注意	47
撮る	12

ナ

日時あわせ	10
-------	----

ハ

パソコン	20
パソコン環境	20
バッテリー	8
ハンディカムハンドブック	43
ビジュアルインデックス	16
付属品	3
ヘルプ機能	38
編集	27
ホームメニュー	38, 40
保証書	51
保存先	24

マ

見る	16
メニュー	38
"メモリースティック"	36
"メモリースティック PRO-HG デュオ"	37
"メモリースティック PRO デュオ"	37

ワ

ワンタッチディスク	23
-----------	----

アルファベット

A/V接続ケーブル	32
DVDライター	28
Macintosh	20
PMB(Picture Motion Browser)	20, 25
PMBガイド	25
RESET	53
TVタイプ	19
USB	20, 28

Windows	20
---------	----

メニュー一覧は40～42ページをご覧ください。

■ 製品についてのサポートのご案内

ホームページで調べる



ハンディカムの最新サポート情報
(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)
<http://www.sony.co.jp/cam/support/>

ハンディカムホームページ
<http://www.sony.co.jp/cam>

ハンディカムの最新情報、撮影テクニック、アクセサリなどに関する情報を掲載しています。

“メモリースティック”対応表

<http://www.sony.co.jp/mstaiou>

使用可能な“メモリースティック”を確認することができます。

付属ソフトウェア(PMB)のサポート情報

<http://www.sony.co.jp/support-disoft/>

電話で問い合わせる(ソニーの相談窓口)



●使い方相談窓口

フリーダイヤル 0120-333-020

携帯・PHS・一部のIP電話 0466-31-2511

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「400」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

受付時間:月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00



●修理相談窓口

フリーダイヤル 0120-222-330

携帯・PHS・一部のIP電話 0466-31-2531

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「400」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

受付時間:月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00

ホームページ <http://www.sony.co.jp/di-repair/>

FAX(共通):0120-333-389

■ カスタマー登録のご案内



カスタマー登録していただくと、安心、便利な各種サポートが受けられます。詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」またはWEBサイトをご覧ください。

<http://www.sony.co.jp/di-usbregi/>

カスタマー登録の特典については下記のURLをご覧ください。
<http://www.sony.co.jp/di-tokuten/>

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、
VOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in China



4 1 3 2 7 6 4 0 2 0